

「どぶろく」にかける「どぶろく人」 本気でやるならバカになれ

なんちゃないまちにしたいくない これからもずっと誇れるまちに

失敗を失敗と思わない

低たんぱく米は初めのもくろみとは違っていたし、有害鳥獣に田を荒らされるなど、さまざまな壁にぶつかりました。しかし、私たちはそれを失敗や挫折だとは思っていません。何もないまちにはしたくないという思いと、それくらいの根性がないと良いものは作れないという覚悟があったからです。

今は、販売ができるまでになり軌道に乗り始めたところ。初めは話題性もあるので売れるかもしれません。勝負はこれからです。

今後も研究を重ね、他の特産品と並んで、どぶろくが鬼北町の特産品として定着できるよう頑張りたいです。

そして「南予に鬼北あり」「鬼北にどぶろくあり」と、今まで以上に誇れるまちにできたら最高です。



Shiba Teruo

芝 照雄さん

企業組合ひろみ川
副理事
出日 47歳



Shiba Hirofumi

芝 博史さん

企業組合ひろみ川
代表理事
川上 53歳

お金や方法は関係ない 大切なのはふるさとへの思い

ふるさとへの懸念と愛情

最近、少子高齢化や都市部への人口集中による過疎化などが原因でもあるが、まちに元気がないような気がします。何とかしないといけない、このままではいけないと思いました。そこでどぶろくを作ることを思いつきました。相当勉強しました。

地域には熱い気持ちを持った人がたくさんいます。私は、少人数で活動するのではなく、余計な壁は作らず、意気込みのある人たちと一緒に活性化ができればという思いがあります。そうすることで、活動も地域ももっと盛り上がると思っています。

初めての事にも立ち向かう。失敗を恐れていては何も始まりません。そして、お金や方法は関係ありません。大切なのは、いかにふるさとを愛しているかなのです。

真の目的

ろ過ぎられないから、ほんのりと甘みが出ておいしいどぶろく。さまざまなハードルを乗り越え販売・製造までこぎつけた「企業組合ひろみ川」。しかし、それがゴールではありません。むしろ、これからは本場のスタートと言っても過言ではないでしょう。

なぜなら、どぶろくを通じた地域活性化。これが組合の真の目的なのです。

その明確な目的があったから、自信が持てました。失敗を失敗と思わない前向きな心が生まれました。さまざまな人たちと共同で行うことで、楽しさややる気が出ました。

それらを支え続け常に活動の根底にあるのは、ふるさとに対する愛であり、鬼北の潜在能力を引き出そうという熱意なのです。その思いがある限り、それに携わる人々の思いも、ろ過ぎることなく輝き続けることでしょう。

どぶろくが鬼北のスタンダードになること、そして地域活性化の起爆剤となることを目指して。